

公益活動報告書（市民活動実績報告書）（令和5年度分）

（宛先）岡崎市長

令和6年3月12日

団体名 JA あいち三河助け合いの会 いなほの会

代表者 鈴木 三ツ子

構成員 66人（※令和6年4月1日時点の構成員数）

団体の目的：団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

少子高齢化社会に対応するために組合員とその家族、地域住民がお互いに力を合わせ、助け合い活動を通じて安心して暮らせる心豊かな地域作りを進める。

私達の団体が掲げる目的を実現するための活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■ 1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどんな活動をしましたか（公益活動に限る）。

活動日 又は期間	場所	公益※1を受けるのは 誰(何)か	受益者数		活動内容	公益を受けるものに どのような効果があったか
			会員以外	会員※2		
毎月第1火曜日	中部学区 市民ホーム	地域住民	10	5	ミニデイサービスの 実施の地域の高齢 者の方を集い、	一人で家にこもるのとは なく、外出する機会を与 えることで、色々なことを経験
毎月第2火曜日	JAあいち三河 美合支店2階 会議室	"	10	6	階かアップの体操、ス レット歌の紙 手芸、ゲームなどを	し、人と出会い、脳を活性化 させた。また、参加すること で地域住民同士のつな
毎月第4火曜日	JAあいち三河 牧内ふれあい センター	"	10	8	提供し、共に楽しむ。 おやつなどを食べながら おしゃべりする時間 を設ける。	がりも生まれつ
毎月第4水曜日	真伝フジの 館	"	6	5		

※1 公益 市に登録した分野での活動で、広く市民社会一般にもたらされる利益（公益が団体や、その構成員や会員に対してもたらされる活動は、公益活動には当たりません。）

※2 会員 構成員であるなしに関わらず、公益の提供者として会の活動に参加する人

☆記載欄が足りない場合は、別紙を添付する形でも構いません。

■ 2 前項1に基づき、活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください（数字に○をつけてください）

高い ← ⑤ ④ 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください

各地区のミニデイサービスではスタッフ同士の交流や親睦も深まり、集みの場となっている体を動かしたり、歌を歌ったり、工作やお話などつながり作りやコミュニケーションの場とばかり、継続を希望される声もいただき、生き甲斐の場となるため、公益性が高いといえる。

裏面の自己診断チェックリストをご確認ください。